



昨年 12月の通勤バス実証実験（肥後大津駅）

現在熊本県は全国的にも渋滞が多く、行政が渋滞対策の施策を検討するなか、大津町に立地している我々も、なんらかの形で協力ができたらという思いで今回、通勤バス運用を町と一緒に取り組むこととしました。

通勤バス以外の取り組み

勤務形態として、フレックスタイム制を導入しています。またコロナをきっかけに必要に応じてリモート対応も行っているところです。現在、時差出勤についても検討中ですが、近隣企業も時差出勤や定時退社日を設けるなど、渋滞対策に取り組んでいるため、時間帯が重なった場合は効果が損なわれる可能性があります。せつかくの取り組みが無駄にならないよう、近年の交通状況の変化も踏まえ、時差出勤の



本田技研工業株式会社 熊本製作所 熊本総務課 熊谷 行雄さん

渋滞なくそう！半額バスを開始

県内のバス会社 5社と電鉄電車、熊本市電が平日の朝のラッシュ時を避けて利用すると運賃が半額になる実証実験を実施しています。会員の2,500円を支払えば通常運賃の半額で乗車できます。

問い合わせ 共同経営推進室 ☎096(312)0588



▲アンケートはこちら

Interview

本田技研工業株式会社 熊本製作所

通勤バスの運用で

地域とのつながりを



通勤バス導入のきっかけ

昭和51年に大津町で本田技研工業株式会社熊本製作所として操業を開始しました。当時は周りに関連企業はなく、町周辺の渋滞についてはあまり問題視されていませんでした。その後、近隣に企業が立地し、ここ大津町周辺が徐々に工業地帯として活況になり交通量も増えてきました。

実証実験を通して

通勤バスの運用に向けて昨年12月と3月に実証実験を行い、最大360人／日の人がバスを利用しました。通勤バスは家から徒歩やJRなどを使ってバスに乗るので、通勤時間は車移動よりも増えますが、移動中を自分の時間に使える運転中にはできなかったようなことができるようになり、時間の活用につながったと思います。また、運転中の事故の心配も減り、交通事故発生リスクも減少します。

効果的な時間帯について知見のある有識者と連携して分析を行っているところです。これまでの49年間、イベントなどを通して町の皆さんにホンダという会社を知ってもらったり、理解してもらうことでコミュニケーションを図りながらやってきました。これからも、我々ができることは協力をしながら、熊本県にホンダがあるよって思ってもらえるような企業を目指していきたいと思っています。

まとめ

国内でも渋滞が多いと言われている熊本県。中でもさまざまな企業進出や住宅開発などによりこれまでよりも交通量が増えてきています。

マイカー使用率が高いのも渋滞要因の一つです。マイカー通勤から公共交通機関や自転車などに切り替えることで、渋滞対策としてももちろん、間接的には通勤時間の有効活用や交通事故防止、CO2削減、歩数増加による健康増進など、さまざまな効果が生み出されます。まずはちょっとした外出や週に1回からでも公共交通機関を利用してみませんか。

肥後大津駅 発着

通勤バス実証開始

10/1～運用開始！

どなたでも乗車可能



町オリジナルラッピングバスが走ります！（令和7年2月～予定）



イラストはイメージです。

運行日カレンダーはこちら▶



ルート：肥後大津駅～本田技研工業(株)熊本製作所間

【朝】①で乗車→②、③、④、⑤、⑥で降車可能

【夕】⑥、⑤、④、③、②で乗車可能→①で降車

運用日：原則平日・祝日運行。詳しくは運行日カレンダーをご確認ください。

朝

※①肥後大津駅出発以降は途中乗車できません

Table with 7 columns: JR時刻表 (熊本方面→肥後大津駅着), 通勤バス, 乗降場所①, 乗降場所②, 乗降場所③, 乗降場所④, 乗降場所⑤, 乗降場所⑥. It lists departure times and fares for the morning route.

夕

※⑥本田技研工業東出発以降は途中降車できません

Table with 7 columns: 通勤バス, 乗降場所⑥, 乗降場所⑤, 乗降場所④, 乗降場所③, 乗降場所②, 乗降場所①, JR時刻表 (肥後大津駅発→熊本方面). It lists departure times and fares for the evening route.